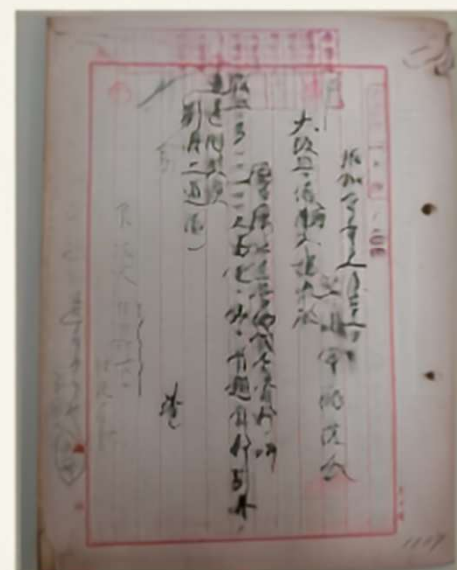
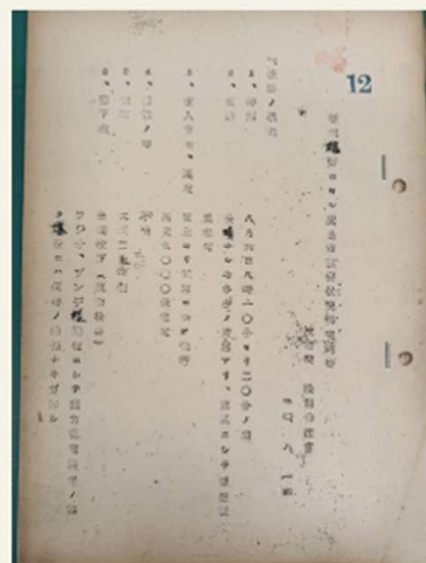


宝塚市立教育総合センターに保存されていた資料

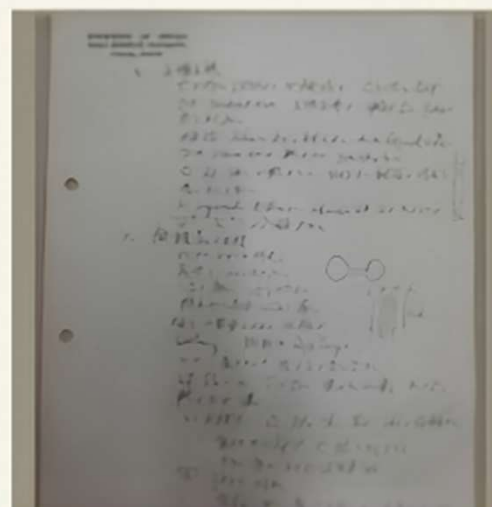
物理学者 浅田常三郎氏 関連資料の記録

宝塚市教育委員会教育研究課

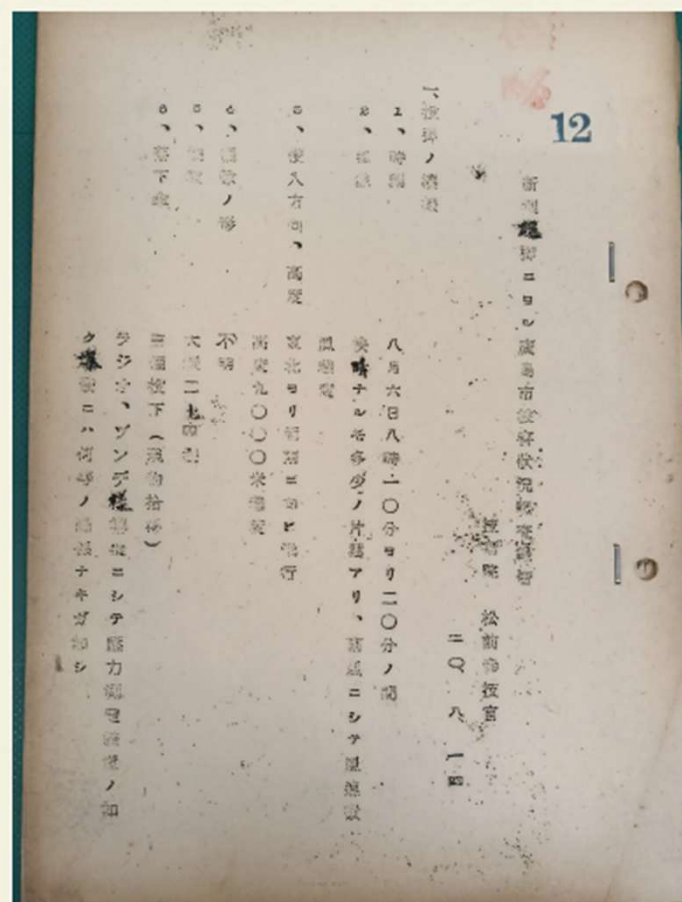
本資料群の概要と 確認された内容



- 宝塚市立教育総合センターにて保存されていた資料群の記録。
- おもに昭和20年（1945年）から昭和22年（1947年）にかけての原子爆弾被害調査に関する書類、手書きメモ、手紙類で構成。
- 元大阪帝国大学教授の物理学者・浅田常三郎氏の旧蔵品と確認される内容が多数を占める。



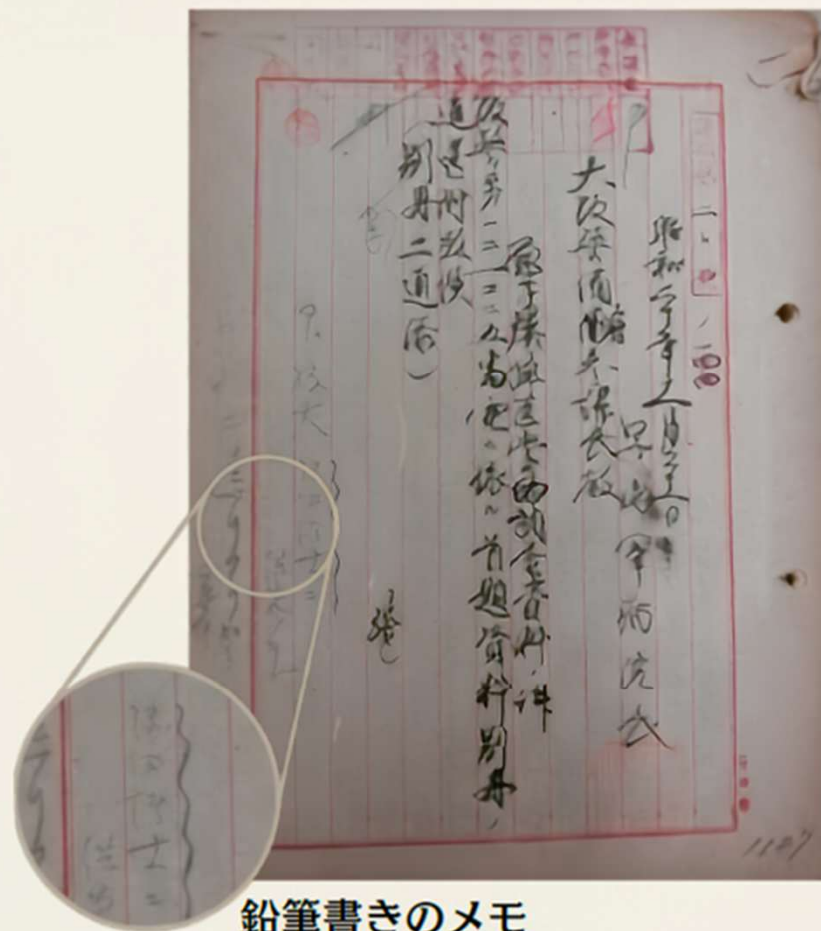
主要資料① 『新型爆弾災害調査研究報告』



作成者	技術院 松前参技官
日付	昭和20年8月14日付け
内容	政府の被害状況調査報告書。 気象、爆弾の分析、被害の状況が記されている。
資料の特徴	極秘の印がある。 12とナンバリングされている。

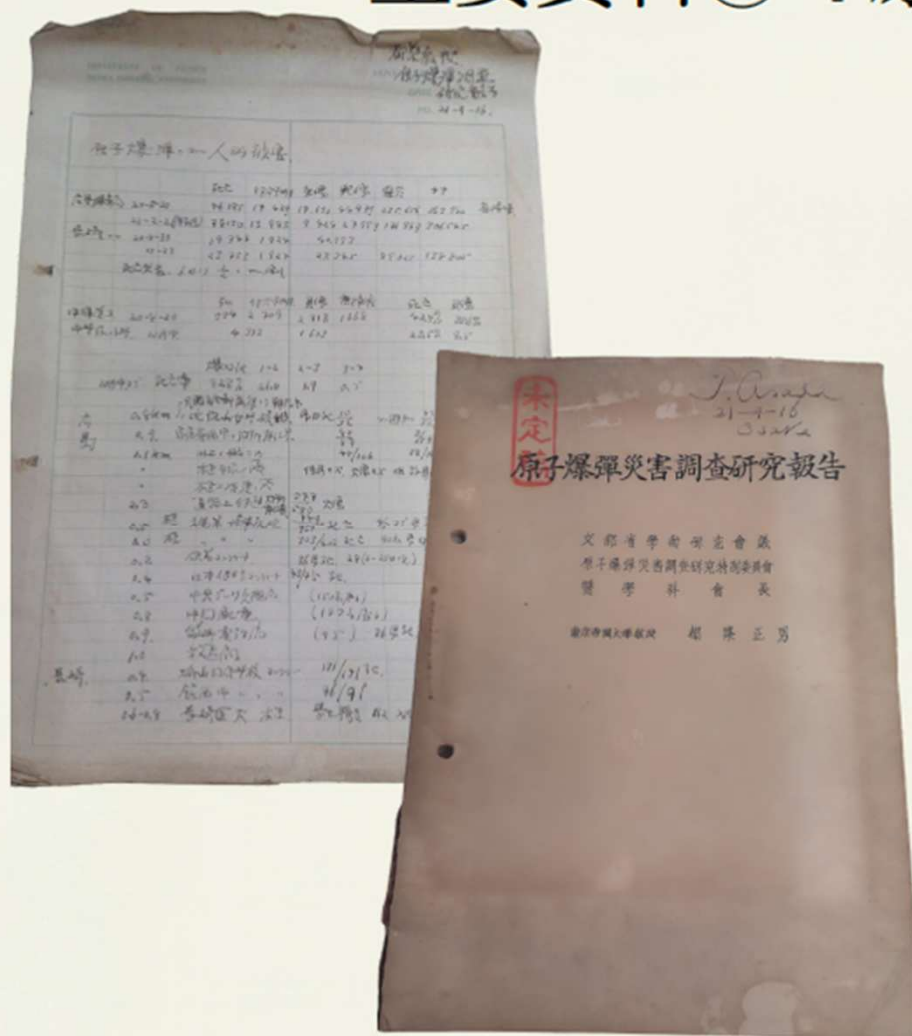
主要資料②

『呉病院第20号 原子爆弾医学的調査資料の件』



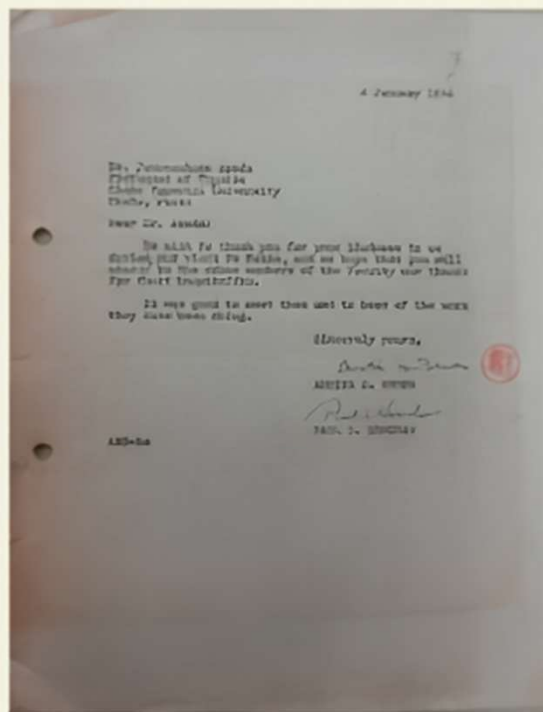
作成者	呉海軍病院長 (大阪警備府参謀長あて)
内容	最前線の病院で収集された被爆者の医学的データ、病状、治療効果の報告。
資料の特徴	軍の決裁印が押印されている。 表紙には鉛筆書きで「浅田博士に」 とのメモ書きが残されており、医学 資料が物理学者の浅田氏へ渡っていた 事実を示す。

主要資料③『原子爆弾ニヨル人的被害』



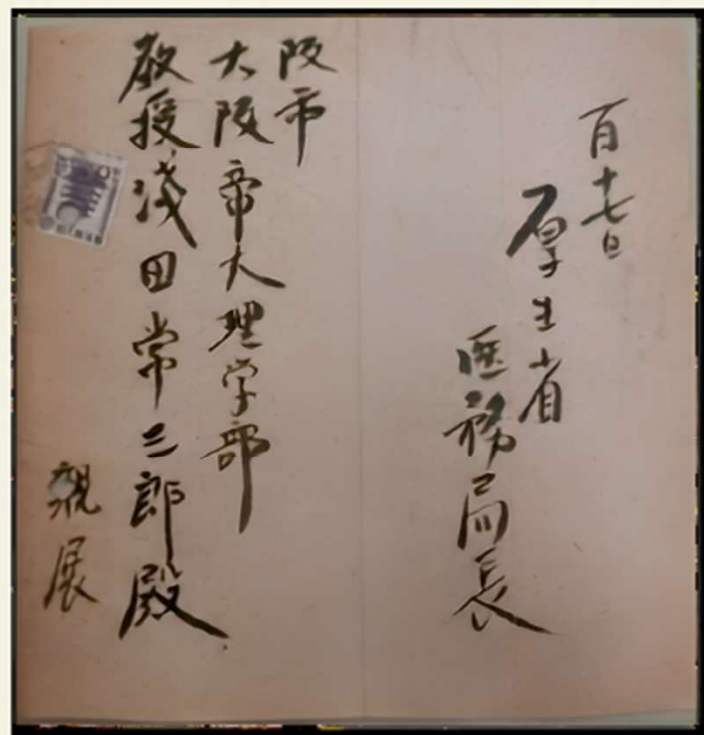
作成者	都築教授 (原子爆弾調査研究報告)
内容	距離別の人的被害(死亡率など)をまとめた医学的調査の報告。
資料の特徴	大阪帝国大学の便せんに書かれた原稿と完成した未定稿の冊子 (浅田氏のサインがある) 昭和21年9月16日付け

主要資料④ 厚生省および米国調査団からの書簡



【米国博士からの礼状】

オースティン・ブルス博士ら（後のABCC発足に関わる調査団）からの英文礼状。書面に浅田氏の落款が残されている。



【厚生省からの封筒】

東龍太郎 厚生省総務局長から浅田氏へ上記礼状を送付した際の手紙（昭和22年1月17日付）。

【文部省からの招聘状】 林春雄委員長による、特別小委員会への出席依頼も保管されている。

教育総合センター保存資料 一覧

分類	主な名称	概要
① 公的調査報告書	松前報告書, 呉病院報告, 都築未定稿	政府、海軍、学術会議によって作成された被害調査の一次記録
② 行政・海外からの書簡	林春雄委員長, 東龍太郎氏, ブルス博士等	国や海外調査団とのネットワークを示す公式な連絡文書
③ 個人の研究メモ・ノート	原爆調査メモ, スクラップ帳	浅田氏が現地調査等で使用した手書きの計算や、記録
④ その他の印刷物・現物	『科学の反省』, 板垣など	関連する出版物および被爆の痕跡が残る物理的な証拠資料

教育総合センターにおける保管経緯

事実

これらの資料群が、現在まで宝塚市立教育総合センターに保管されていました。

ただし、明確な移動・寄贈の公的記録は現存していません。

